

平成19年3月26日



日本スーパーマーケット協会

平成19年2月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	34,010,874 万円	100.0%	103.3%(103.7%)	32,234,806 万円	100.3%(100.8%)
食 料 品	27,824,742 万円	81.8%(78.7%)	103.2%(103.8%)	26,446,389 万円	100.3%(101.1%)
農 産	3,845,348 万円	11.3%(11.1%)	100.6%(102.9%)	3,663,320 万円	97.9%(100.2%)
水 産	3,105,732 万円	9.1%(9.4%)	99.8%(101.7%)	2,961,278 万円	98.0%(99.1%)
畜 産	3,180,769 万円	9.4%(9.2%)	104.9%(104.7%)	3,016,101 万円	101.6%(101.7%)
惣 菜	2,768,251 万円	8.1%(7.8%)	105.2%(104.7%)	2,609,730 万円	101.9%(101.8%)
日配食品	6,377,257 万円	18.8%(17.8%)	103.6%(104.5%)	6,065,583 万円	100.8%(101.5%)
加工食品	8,547,385 万円	25.1%(23.4%)	103.9%(103.9%)	8,130,377 万円	100.8%(101.4%)
生活関連	2,689,148 万円	7.9%(8.5%)	102.4%(101.8%)	2,556,756 万円	100.0%(99.8%)
衣 料 品	1,516,104 万円	4.5%(6.0%)	100.7%(97.8%)	1,449,993 万円	98.4%(95.5%)
そ の 他	1,980,880 万円	5.8%(6.8%)	109.9%(111.1%)	1,781,668 万円	103.5%(103.6%)

数 値

全店総売上高	34,010,874 万円	店 舗 数	3,514 店舗
総売場面積	6,109,349.5 m ²	総従業員数	173,553 人

店舗平均月商	9,678.7 万円	平均客単価	1,867.7 円
月間m ² 売上(前月)	5.6 万円(6.1 万円)	平均店舗面積	1,738.6 m ²
月間坪売上(前月)	18.4 万円(20.2 万円)	パート比率(前月)	76.1%(76.2%)

注) 総従業員数...パート・アルバイト数は、8時間換算しています

全体概況

- ・ 引き続き平年よりも気温が高い日が続いたため、冬物商材が不振となった。しかしながら、飲料やビール、サラダ商材については好調に推移した
- ・ 気温の影響で農産物が豊作であったことから、安値安定となり、売上作りに苦慮した
- ・ 春物商材の動きが例年に比べかなり早かったことから、関連商品を中心に展開遅れによる売上損失が見受けられた

商品動向

農産

- ・ 暖冬および安値安定の影響により、冬物商材を中心に売上不振となった
- ・ 春野菜の出荷が例年よりも2週間程度早く、中旬から好調に推移している
- ・ 果物については気温の影響からか、かんきつ類の動きが良かった。また、いちごについては前半は苦戦するも、中旬以降は価格が安定し売上が回復した

水産

- ・ 鍋物商材については、暖冬の影響から売上不振となった
- ・ ぶりについては、刺身・切り身とも好調に推移した
- ・ 牡蠣については、多くの企業が昨比50%台と不振となったものの、ノロウイルスが終息してきたとともに販促を強化したところでは、ほぼ例年並の売上まで回復したという声もある

畜産

- ・ 牛肉については、すき焼き用肉が不振となったものの、焼肉商材については好調に推移した。特に味付け焼肉や焼肉セットが好調であった
- ・ 豚肉については、しゃぶしゃぶ用肉が気温の影響からか好調に推移した
- ・ また、サラダ商材であるハム類の動きが活発であった

惣菜

- ・ 気温の影響からか、寿司が好調に推移した。しかしながら、揚げ物については全般的に不振となった
- ・ 天ぷらは全般的には昨比割れとなるも、旬のたらの芽天ぷらについては好調に推移した

日配・加工食品

- ・ 日配食品については、飲料やアイス、玉子豆腐、焼きそばなど、涼味商材を中心に好調であった。また、先月まで不振の続いた牛乳の売上については、回復の兆しが見える
- ・ 花粉シーズン到来により、ヨーグルトの動きが好調であった
- ・ 加工食品については、他部門同様に冬物商材が全般的に不振となった。しかしながら、キムチ鍋の素やしゃぶしゃぶのタレについては好調に推移した
- ・ また、飲料やビールについては好調に推移した

その他

～節分の売上動向について～

- ・ 恵方巻きについては、バリエーションも豊富になり本年も好調に推移するも、昨年のような大幅な伸びはなくなった。また、種類としてはハーフサイズや海鮮巻きが好調であり、握り寿司についても好調に推移した
- ・ 巻寿司バイキングなどの販促を行ったところについては、好調に推移した
- ・ 節分豆については、昨比割れとなるも、落花生については伸長している
- ・ いわしについては、昨年並みもしくは昨年割れの状況
- ・ 関連商品として販売した、甘納豆やキビ団子が売上アップに貢献した

～バレンタインデーの売上動向について～

- ・ 昨年同様に手作りチョコや友チョコ需要が伸びており、板チョコを中心に好調に推移した
- ・ 有名ホテルや有名ブランドの高単価な高級チョコについても好調であり、自分用に購入している方も多く見られた
- ・ 洋酒入りチョコレートは不振となったものの、焼酎ボンボンが好調であった
- ・ 売れ筋は高単価商品へと移行しており、見た目よりも味や質を重視したものが好調に推移した。しかしながら、単価は微増ながらも販売点数が減少していることから、売上は昨年比100%を超えている企業は少なく、96%～98%程度のところが多い

～ひな祭りの動向について《速報》～

- ・ 雛あられについては、早期展開をしたところは低単価商品を中心に好調
- ・ はまぐりについては、昨年よりも相場高となり動きが鈍い
- ・ 刺身の盛り合わせやちらし寿司、握り寿司、オードブルが好調に推移している
- ・ 桜餅の動きは鈍いものの、ケーキについては好調に推移している

詳細につきましては来月ご報告いたします

以上